

土砂災害について

関連WEBサイト

気象庁(土砂災害警戒情報)

気象庁(土砂キキクル)

佐賀県(すい坊くん)

土砂災害の種類とその前兆現象

土砂災害が発生するおそれがある区域として、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を県が指定しています。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことを表します。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建物に損壊が生じ、住民等の生命、または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことを表します。
特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。



土砂災害警戒情報

危険が
迫って
きたら

大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、佐賀県と佐賀地方気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表します。
土砂災害警戒情報が発表されたときは「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。
情報は市町村単位で発表されるので、住民のみなさんの自主避難の判断に活用できます。

土砂災害警戒情報が発表されたら

- 伊万里市が発表する避難情報に注意する。
- ハザードマップを再確認する。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を確認したらすぐに避難する。



急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

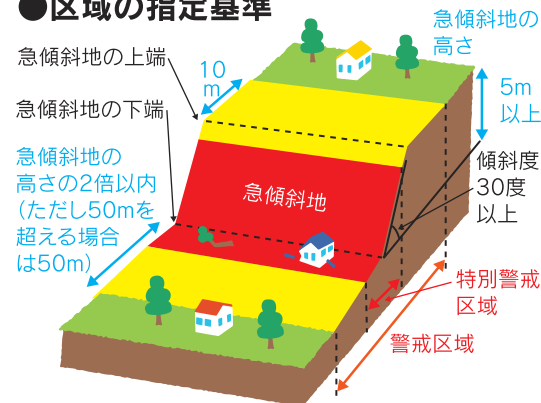
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



前兆現象

- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がパラパラと落ちてくる。

●区域の指定基準



土石流

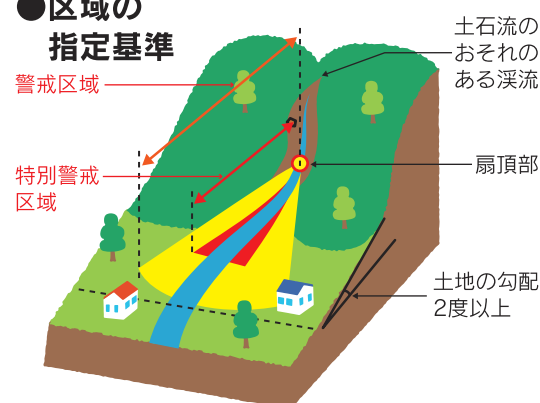
山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨によって、一気に下流へと押し流される現象です。



前兆現象

- 山鳴りがする。
- 川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

●区域の指定基準



地すべり

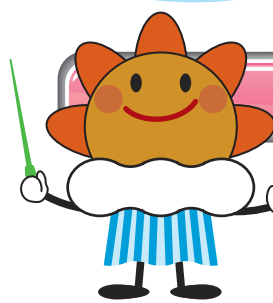
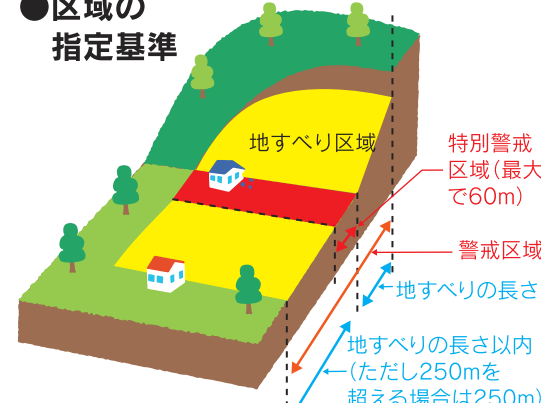
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

●区域の指定基準



土砂キキクル

気象庁がインターネットで発信するキキクル(危険度分布)は、大雨による災害から、あなたやご家族の大切な命を守るための情報です。災害発生の危険を察知し、安全なうちに避難するために、キキクルの情報をお役立てください。

1 キキクルはどんなときに使う



大雨警報が発表されたとき。

2 キキクルにアクセスする

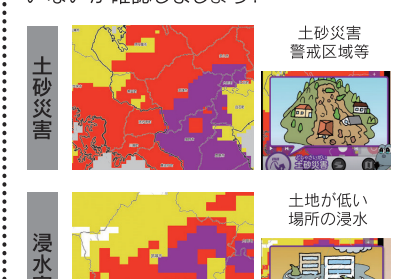
インターネットで「キキクル」を検索しましょう。



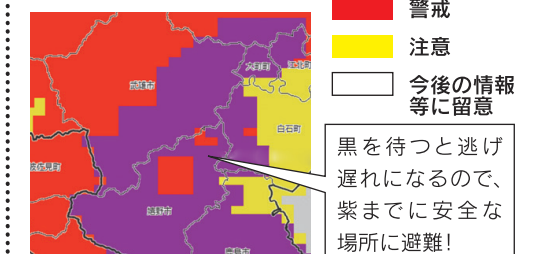
強い雨が降ってきたときに使いましょう。

3 身の周りに危険がせまっていないか確認

自分や家族がいる場所に危険がせまっていないか確認しましょう！



4 色を確認して早めの行動を



赤や紫がなくても今後の雨を確認しよう！



いざ、避難

■危険を感じたらすぐに避難

土砂災害の前兆現象に気付いたり土砂災害警戒情報が発表されたりした場合など、身の回りの危険を感じたら、早めに近くの安全な場所へ避難してください。

■やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



土砂災害時の注意点

■屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)を通らないようにしましょう。
ハザードマップで区域を確認してください。

■雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が大量に土の中に残っています。雨がやみ、大雨警報が解除された後でも、急傾斜地などで土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。



防災気象情報の
入手について

ため池決壊の
起こり方

土砂災害について

避難について

ため池ハザードマップ

日頃の備え
避難生活の心得